

子どもの“根っこ”を信じ、希望の芽を育む。



ひこばえ
子どもクリニック

ブランドブック

- 1 クリニック名について
- 2 ロゴについて
- 3 私たちの存在意義
- 4 私たちの使命
- 5 私たちの目指す未来
- 6 私たちの価値観
- 7 私たちの行動指針



ひこばえ

「ひこばえ（蘗）」とは、切り株や倒れた木の根元から新たに芽吹く若い枝のことを指します。幹を失っても「根っこ」は生き続け、そこに蓄えられた養分を使って、再び芽を伸ばす——。その姿は、回復し、成長していく、「レジリエンス」の象徴でもあります。

子どもたちもまた、それぞれに「根っこ」を持っています。病気や困難に直面したとき、一時的に揺らぐことがあっても、その「根っこ」が失われることはありません。心と体を回復させる力は、すでに子どもたち自身の内に宿っているのです。

私たちは、その「根っこ」を見つめ、しっかりと支えていきます。そして、子どもたちが再び芽吹き、のびやかに育っていく未来を、ともに育んでいきたいと願っています。





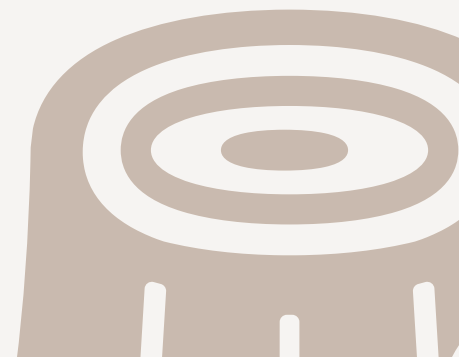
ひこばえ 子どもクリニック

切り株とひこばえ

レジリエンスの象徴でもある「ひこばえ」をモチーフに。そして、このマークは院長として過ごした「最後の日」の姿でもあります。飯塚の地で生まれた小さな「若葉」は、成長し、やがてしっかりと根を張り「大きな木」になりました。その木の元には子どもたちが集い、寄りかかったり、木漏れ日やそよ風を感じるなど、子どもたち一人ひとりにとってかけがえのない「居場所」になりました。

時は流れ、子どもたちは大人になりました。それでも「木」は利他の気持ちで、多くを与え続け、最後には「切り株」になりました。「もう与えるものは何もない」と思われていましたが、その切り株にかつての子どもがやってきて腰をかけました。そこは、その子にとって、変わらずかけがえのない「居場所」だったのです。

Inspiration: Shel Silverstein / The Giving Tree



子どもの
“根っこ”を信じ、
希望の芽を育む。

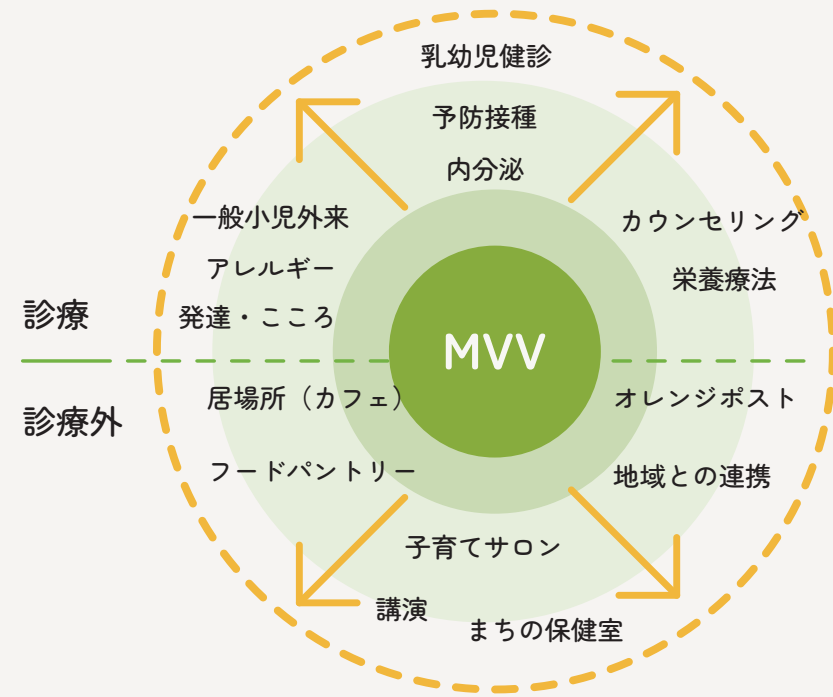
レジリエンスを軸とした、私たちのパーパス（存在意義）です。子どもたちは「根っこ」を持っています。私たちは、その「根っこ」を見つめ、しっかりと支えていきます。そして、子どもたちが再び芽吹き、希望を持って、のびやかに育っていく未来を、ともに育んでいきたいと願っています。



Mission

ミッション

診療・支援・学びを通じて、
医療と地域をつなぐハブとなり、
子どもと地域のレジリエンスを育む
“子どもコミュニティクリニック”を
築いていきます。



部分を拡充することで飯塚における
子ども支援、地域支援の拠点を目指して行きます。



Vision

ビジョン

子どもと保護者の声に真摯に耳を傾け、
専門的な医療と、^よ ^べ 寄る辺となる
地域連携で支える拠点に。
地域と手をたずさえながら、
回復と成長が響きあう、
子どもにやさしいまちを育んでいきます。



Value

バリュー

子どもの力を信じるまなざし

すべての子どもが、自らの力で育ち、癒えていく力を持っていると信じ、その歩みに真摯に関わります。

地域とともに育つ

保育・教育・福祉・保健分野と連携し、医療の枠をこえて、子どもにやさしい環境づくりに取り組みます。

つながりと気づきを広げる学びと発信

アウトリーチや発信を通じて、子どもや家族のまわりにいるすべての人と学び合い、つながりと気づきを広げます。

安心できる居場所づくり

子どもも大人も、心を休め、自分らしくいられる時間と空間を大切にします。

未来に希望をつなぐ

子どもたちの小さな芽吹きが、まち全体の希望になるように。診療や地域の活動を通じて、次の世代へとつなぎます。



Kuredo

クレド

クレドは「ひこばえ子どもクリニック」が大切にしている考え方です。スタッフ全員がクレドを同じ言葉としてわかり、その気持ちを大切にしてい日々、働いています。クレドに書いてある大事なことを、自分のものとして受けとめています。仕事で困ったり、自分でどうしたらいいか迷ったときは、いつでもクレドを思い出します。

私たちは、いつも——

子どもの力を信じています。

どの子にも、自分の力で育ち、再び元気になっていく力があると信じています。だからこそ、その子の気持ちやペースを大切にしながら、ゆっくりと丁寧に関わっていきます。

すれ違いが起きたとき、誠実に向き合います。

ときには、思いがすれ違ったり、うまくいかないこともあるかもしれません。そんなときこそ、私たちは立ち止まり、何が起きたのかを見つめ直し、しっかりと話し合います。

子どもとどう関わるかを大切にしています。

子どもがどんなふうに関わり、何を伝えようとしているのかを、よく見て、よく聞いて、受けとめます。無理に引き出すのではなく、心の準備ができるのを待ちながら、力になれるように一緒に歩きます。

地域と共に、歩みます。

地域の一員として、保育・教育・福祉・保健・医療に携わる専門職の方々をはじめ、地域に暮らすすべての方々を大切なパートナーと考え、敬意をもって手を取り合います。

家族のそばにいます。

子どもを支える家族のみなさんの気持ちにも目を向けています。ひとりで抱え込まなくていいように、困ったことや不安なことがあれば、いつでも声をかけてください。

学びをひらき、つながります。

アウトリーチや発信を通じて、私たちが見てきた子どもたちの力や家族の姿を伝えます。専門的な視点を、やさしい言葉でひらき、多くの人たちと気づきと学びを分かち合います。

ほっとできる場所をつくりまします。

日々の小さなふるまいの積み重ねを大切にしてい、ここに来ることで、子どもも大人も「なんだかほっとする」、「ここにいっても大丈夫」と思えるような空間を作ります。

希望を未来につなぎまします。

子どもたちの小さな芽吹きが、やがてまちの希望にもなると信じています。日々の診療や地域との関わりを通じて、子どもたちの「今」と「これから」を支え、未来へと手渡していきます。